

目的 急速におとずれつつある高齢化社会において自立した生活を送らなければならない高齢者にとって、運動機能性に優れた衣服は、日常生活の中で必要不可欠のものであるといえる。そこで、衣服に関連のある動作についての実験を行い、高齢者の運動機能の特徴を明かにし、衣服にどのように配慮すべきか検討した。

方法 昨年の高齢女性の衣生活全般についての実態調査に引き続き、高齢者の運動機能の特徴を検討した。被験者は、70歳前後の高齢女性11名と比較のための20歳前後の女子学生24名である。ビデオを用いた上肢関節可動域測定実験、着脱動作の観察及び手先・指先の器用さを測定するための狙準・共応・リング挿検査等を行った。

結果 高齢女性においては、女子学生と比較して、左手の肩関節の屈曲と肩甲骨の回旋で10.2%、左手の肩関節の外転と肩甲骨の回旋で6.9%、体幹の後屈で20.2%の可動域の減少がみられるなど上肢上挙、体幹の前後屈に衰えがみられ、目との共応動作を中心とする手先・指先の動きについても同様の結果が得られた。高齢女性の衣服を考えていく上ではこれらの特徴を衣服に配慮して運動機能性を高めていくべきであるといえる。